

JR連合「早川町地域活性化ボランティア」に参加 !! 地域社会とのパートナーシップを考える

イーストユニオンは、9月12～13日、山梨県早川町において、JR連合の地域活性化ボランティアに参加しました。同ボランティアは、JR連合「JR20年の提言～7つのパートナーシップ」で提起する「地域社会とのパートナーシップ」の具体化のひとつとして2008年から取り組まれており今回で16回目となります。オイスカ「富士山の森づくり」、東日本大震災「被災地海岸林再生プロジェクト」などとあわせて、JR連合が、労働組合の社会的な役割の一環として取り組んでいるボランティア活動のひとつとなっています。

今回のボランティアには、JR連合傘下の組合員と、JREユニオンからは関東エリア地本の佐藤副委員長、中村執行委員が参加しました。

早川町は、JR身延線沿線の急峻な山々に囲まれたところに位置し、近年は過疎化が進み、地域によっては人口の約半数が65歳以上といういわゆる限界集落になっています。今回の活動では、農道や公民館の草刈り、用水路、害獣よけ柵の整備、また、春に種を蒔いたひまわりやコスモス畑の草取りなどを行い、不慣れな作業でしたが、終了後には見違えるように綺麗になったとの達成感を味わうことができました。その後、ボランティア担当者会議を開催し、夕食はJR連合の仲間とのバーベキュー交流会で多くの意見交換をしてきました。



佐藤さん、中村さんお疲れ様でした

翌二日目も、作業を継続した後は、公民館で早川町の方々の手料理を囲み、現地の方々との交流会も行われました。今回は、地域に移住してきた方も参加し早川町の現状や取り組み等々の意見交換ができました。

今後とも、地域社会との連携など、労働組合としての役割を考えながら、イーストユニオンも各種ボランティア活動などに積極的に参画していきます。

全国の仲間とともに社会への貢献をめざす「JR連合」に結集しよう！